

連載

Turbo

HAMLOGの

部屋

Turbo HAMLOG開発者
JGIMOU 浜田 博 Hiroshi Hamada

第9回

Turbo HAMLOG/WinのQSOデータ入力

Turbo HAMLOG/Win (以下、HAMLOGと略します) のQSOデータ入力についてご紹介します。

入力ウィンドウから

HAMLOG による QSO データの入力については、作った本人である筆者の遥かに上をいく、達人と呼べるような方々が各地にいらっしゃいます。hi
本稿では QSO データ入力に関連する各種機能についてご紹介していきたいと思います。

コールサインの入力

図1は、コールサインを入力している状況です。HAMLOG では、コールサインを入力したら必ず Enter キーを押していただく仕様としています。コールサインは、20 文字まで入力できます。

図1の [Call] ボタンの右隣には [DX] と表示されたチェックボックスがあります。HAMLOG ではここにレ点が入っていると DX 局であると判断します。

通常は、環境設定の [設定2] タブで指定した国内プリフィックスに該当があれば国内局、該当がなければ DX 局と HAMLOG が判断し、DX 局のときは [DX] にレ点が入ります。

コールサイン入力欄では、Enter キーを押したと同時に次の処理がなされます。

Enter キーを押した瞬間の日付、時刻を自動入力

過去に交信している局であれば、その交信履歴を表示 (過去の交信内容が分かる)

交信に至らなかったワッチデータがあれば、その内容を交信履歴内に表示

DX 局であれば DXCC エンティティを自動入力

HAMLOG ユーザーリストなどの登録済みデータから検索し、該当があれば名前や QTH などを取り込む。

図1 入力ウィンドウにコールサインを入力している状況

JARL会員リストから検索し、QSLカードが転送可能な局であればその旨を表示※1

総務省の無線局情報等検索のホームページにアクセスし、免許情報を表示するとともに無線局設置場所を取り込む※2

コールサインをファイル名としたアイボール時の写真などがあれば表示

相手局から届いたHAMLOG E-Mail QSL (いわゆるhQSL) の電子QSLがあれば表示

コールサインをファイル名としたテキストファイルがあれば、その内容を表示※3

図2は、コールサインを入れてEnterキーを押した状況です。Enterキーを押した瞬間の日付と時刻が入り、過去の交信履歴、過去に届いた電子QSLが表示されています。

コールサイン入力のヒント表示

図3は、コールサイン入力欄にマウスカーソルを近づけたときのヒント表示です。キー操作により何ができるか、概要が表示されています。

このほかにも、入力ウィンドウの各所でこのようなヒント表示を見ることができます。

前回の交信内容の表示

まずは図3ヒントのとおり↑キーです。コールサインの項目で↑キーを押すと「データの表示&修正」ウィンドウが表示されて直前の交信内容が表示され、修正することもできます。

図4は、入力ウィンドウのコールサインの項目で↑キーを押して表示された「データの表示&修正」ウィ

図2 コールサインを入れてEnterキーを押した状況

図3 コールサイン入力欄にマウスカーソルを近づけたときに表示されるヒント

図4 入力ウィンドウのコールサインの項目で↑キーを押して表示された「データの表示&修正」ウィンドウ

※1 QSL印刷抑制機能については、本誌2024年10月号で解説しました。

※2 総務省の無線局情報等検索のホームページは、本稿執筆時点では個人が作成したアプリからのアクセスを遮断しています。そのため、HAMLOGの免許状Get'sはエラーになってしまい、相手局の免許情報は表示されず、QTHも取り込むことができません。Google ChromeやMicrosoft Edgeなどのブラウザおよび、Microsoft Excel VBAで作ったアプリであれば引き続き閲覧可能です。

※3 JPEG画像のヒットやコールテキスト機能については、本誌2024年11月号で解説しました。

ンドウです。

[データの表示&修正]ウィンドウ上では↑キーを押すと1件前の局が表示され、↓キーを押すと1件後の局が表示されます。同様に、PageUpキーを押すと10件前の局が表示され、PageDownキーを押すと10件後の局が表示されます。

表示内容を修正して登録することもできます。

コールサイン入力履歴の表示

図3ヒントのとおりに↓キーを押してみます。

図5は、コールサインの項目で↓キーを押して表示された入力履歴です。履歴の表示内容を選択して再入力することができます。

[Call] ボタンをダブルクリックしても入力履歴が表示されます。

入力履歴は、最大64個のコールサインを記憶しています。

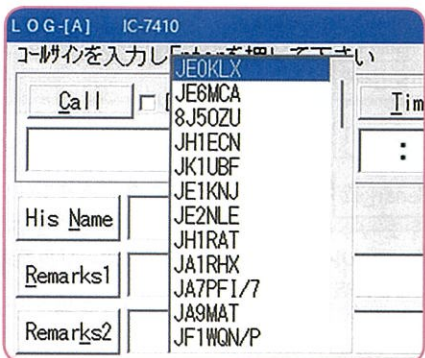
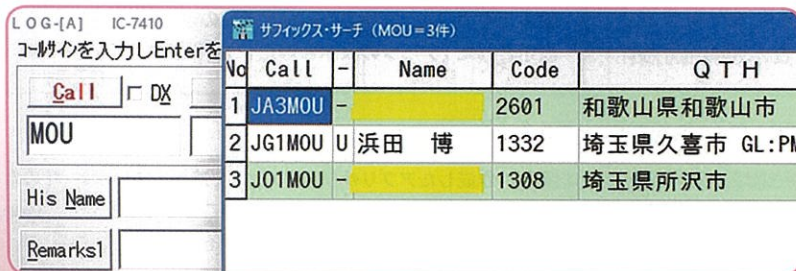


図5 コールサインの項目で↓キーを押して表示されたコールサイン入力履歴



DX局扱いとする

図3ヒントのとおりに Shift + Enter キーを押してみます。

Shift + Enter キーを押すと、強制的に DX にレ点が入って DX 局扱いとなり、コールサインに応じた DX エンティティが自動入力されます。

図6では、J11LB/DU9 に入っていますが、このまま Enter キーを押しても DX-QSO 扱いとはなりません。Shift + Enter キーを押せば、DX-QSO 扱いとなり、QTH 欄にエンティティが入ります。

これは仕様ということでご理解ください。

これが DU9/J11LB であれば、Enter キーを押せば自動的に DX にレ点が入って DX-QSO 扱いとなり、QTH 欄にエンティティが入ります。

国内局扱いとする

図3ヒントのとおりに Alt + Enter キーを押してみます。

Alt + Enter キーを押すと、強制的に DX のレ点 が外れ、国内局扱いとなります。

サフィックス・サーチ

コールサイン入力欄でサフィックス、またはコールサインの一部を入力し、Ctrl + Enter キーを押すと過去の QSO や登録済みデータからサーチし、該当データを一覧表示します。

図7は、コールサイン入力欄に MOU と入れて Ctrl + Enter キーを押した状況です。

図6 コールサインの項目で Shift + Enter キーを押すと、強制的に DX にレ点が入って DX 局扱いとなる

図7 コールサイン入力欄にサフィックスを入れて Ctrl + Enter キーを押した状況

図8 サフィックスの2文字目が不明な状態でCtrl + Enterキーを押した状況

LOG-[A] IC-7410

コールサインを入力しEnterを

Call ☐ DX

S?J

His Name

Remarks1

Remarks2

サフィックス・サーチ (S?J=39件)

No	Call	Name	Code	QTH
1	7K2SKJ	-	1026	東京都稲城市
2	7K4SLJ	U	100121	東京都足立区
3	7M1SZJ	-	1331	埼玉県桶川市
4	7M3SQJ	U	1302	埼玉県川越市
5	7N1SEJ	-	1321	埼玉県草加市
6	7N2SJJ	U	100115	東京都杉並区
7	7N4SQJ	U	1317	埼玉県鴻巣市 GI・PM

サーチするにあたっては、環境設定の[設定1]タブの[サフィックス・サーチは(V),(W)も実施]にレ点を入れておくと、過去のQSOやユーザーリスト以外にも登録済みテキストデータ(V),(W)からもサーチします。

図7のように一覧表示されたデータ上でEnterキーを押すと、そのコールサインが取り込まれます。

また、10行目までは、1~0の数字キーを押すだけで取り込むことができます。

サフィックス・サーチ (1文字不明な場合)

図8は、コールサイン入力欄にS?Jと入れてCtrl + Enterキーを押した状況です。

サフィックスの2文字目が不明なため、ワイルドカードとして?を使ってサーチしたので、1文字目がSで3文字目がJのコールサインを一覧表示しています。表示されたコールサインは、ソートされています。

サーチ方法にはワイルドカードが指定できます(ワイルドカードについてはp.161のColumnを参照)。サーチ方法は次の例のとおりです。

AAと入れてCtrl + Enterキー

サフィックスにAAが含まれるコールサインを一覧表示します。

A*と入れてCtrl + Enterキー

1文字目がAのコールサインを一覧表示します。

A?と入れてCtrl + Enterキー

2文字コールで、1文字目がAのコールサインを一覧表示します。

?Aと入れてCtrl + Enterキー

2文字コールで、2文字目がAのコールサインを一覧表示します。

?AAと入れてCtrl + Enterキー

2文字目と3文字目がAのコールサインを一覧表示します。

A?Aと入れてCtrl + Enterキー

1文字目と3文字目がAのコールサインを一覧表示します。

AA?と入れてCtrl + Enterキー

1文字目と2文字目がAのコールサインを一覧表示します。

AA*と入れてCtrl + Enterキー

1文字目と2文字目がAのコールサインを一覧表示します。

A1Aと入れてCtrl + Enterキー

数字が含まれる場合、部分文字列でサーチします。この場合、A1Aが含まれるコールサインを一覧表示します。例えばJA1AA等。

JA1Aと入れてCtrl + Enterキー

4文字以上指定すると、部分文字列でサーチします。この場合、JA1Aが含まれるコールサインを一覧表示します。

ワイルドカード・サーチ

コールサイン全体を、MS-DOSのワイルドカードと同じようにサーチします (Column 参照)。

図9は、コールサイン入力欄にJO*MMと入れてEnterキーを押した状況です。

JOで始まりMMで終わるコールサインが、過去の交信内容やHAMLOG ユーザーリストから表示されています。

図10は、エリア番号とサフィックスの2文字目が分からなかったため、コールサイン入力欄にJJ?U?Fと入れてEnterキーを押した状況です。

Enterキーでは日付時間が入りますが、Ctrl + Enterキーでは日付時間が入りません。それ以外は同じ動作となります。

コールサインの一部にワイルドカードを含めて入力し、Enterキーを押すと過去のQSOや登録済みデータからサーチし、該当データを一覧表示します。

図11は、エリア番号とサフィックスの1文字目が分からなかったため、コールサイン入力欄にJH..BKと入れてEnterキーを押した状況です。?の代わりにピリオドを使用しました。

サーチ方法は次の例のとおりです。

JA*Zと入れてEnterまたはCtrl + Enter

JAから始まり、Zで終わるコールサインを一覧表示します。

7M??ZJと入れてEnterまたはCtrl + Enter

7Mで始まり、次が任意の2文字、ZJで終わるコールサインを一覧表示します。

LOG-[A] IC-7410

ワイルドカード・サーチ (JO*MM=3件)

No	Call	Name	Code	QTH
1	J02PMM	-	1802	静岡県浜松市
2	J03IMM	U	2711	兵庫県加古川市
3	J06XMM	-	09008A	長野県下伊那郡阿智村

Call ☐ DX

JO*MM

His Name

Remarks1

図9 JOで始まりMMで終わるコールサインをサーチした状況

図10 エリア番号とサフィックスの2文字目が不明な状態でサーチした状況

LOG-[A] IC-7410

ワイルドカード・サーチ (JJ?U?F=2件)

No	Call	Name	Code	QTH
1	JJ1UCF	U	120105	千葉市緑区
2	JJ2UDF	-	2107	三重県鈴鹿市

Call ☐ DX

JJ?U?F

His Name

図11 エリア番号とサフィックスの1文字目が不明な状態でサーチした状況

LOG-[A] IC-7410

ワイルドカード・サーチ (JH??BK=5件)

No	Call	Name	Code	QTH
1	JH1DBK	-	111002	相模原市中央区
2	JH1HBK	U	1208	千葉県野田市
3	JH1UBK	-	1515	栃木県那須烏山市
4	JH2BBK	U	1901	岐阜県岐阜市
5	JH7BBK	-	0718	福島県南相馬市

Call ☐ DX

JH..BK

His Name

Remarks1

Remarks2

JP?H*と入れて Enter または Ctrl + Enter

JPから始まり、サフィックスの1文字目がHのコールサインを一覧表示します。

サフィックス・サーチ/ ワイルドカード・サーチの 概要

QSOデータ ⇒ ユーザーリスト (U) ⇒ テキストデータ (V) ⇒ テキストデータ (W) の順でサーチし、QSOデータからは最新の発信内容が表示されます。

コールサインの右側に表示されている文字は、QSOデータは - を、ユーザーリストは U、テキストデータは V、テキストデータは W をそれぞれ示すものです。

サフィックス・サーチ/ ワイルドカード・サーチの 注意点

7文字以上のコールサインの場合、7文字目以降の文字はサーチできません。6文字以内を入力してサーチしてください。

例えば、サーチ対象に 8J1YK70Y がある場合、サ

フィックス最後の 0Y はサーチ対象とはなりません。

図12のように、8J1*7と6文字以内の部分でサーチすれば OK です。

また、コールサイン中の / を含めたサーチはできません。

これらは、処理を高速化するため QSO データではなくインデックスファイルからサーチしているためです。

サフィックス・サーチ/ ワイルドカード・サーチまとめ

以上、まとめてみますと、例えば 7M3QTC というコールサインが対象だとすると、コールサインの部分文字列でサーチする場合、7M3Q、M3QT、3QTC などと入れて Ctrl + Enter キーです。

サフィックスでサーチする場合、QTC、Q?C、?TC などと入れて Ctrl + Enter キーです。

コールサインの一部が分からない場合は、7M3Q?C、7M*TC、7M?Q?C、*3?TC、7*QT? などと入れて Enter キー、または Ctrl + Enter キーです。

サフィックス・サーチ/ワイルドカード・サーチは、過去の発信データが増えてくると威力を発揮しますので、ご活用ください。

それでは、次号に続きます。

㊞

図12 ワイルドカード・サーチで、7文字以上のコールサインがあった場合

LOG-[A] IC-7410

コールサインを入力してワイルドカード・サーチ (8J1*7=1件)

<u>Call</u>	☐ D No	Call	-	Name	Code	QTH
8J1*7	1	8J1YK70Y	-	結城クラブ	1407	茨城県結城市

Column

ワイルドカードについて

MS-DOS の時代からパソコンをお使いの方ならご存じと思いますが、ワイルドカードとはトランプのジョーカーのように他の文字の代用となる記号です。

ワイルドカードは、*が任意の文字列、?が任意の1文字です。

例えば、コマンドラインで dir*.txt とコマンドを打つと、テキストファイルの一覧が表示されます。MS-DOS の時代をご存じの方には懐かしいでしょう。hi

HAMLOG のコールサイン入力欄では、*の代わりに @ も使えます。

? の代わりにピリオド、カンマなどの記号も使えます。